

2020年度経営学部新入生アンケート結果

実施日時 : 2020年4月3日（金）

実施場所 : 各オリエンテーション教室

対象者人数 : 153名（2020年度経営学部経営学科春季入学生）

回収数（率）: 148名（96.0%）

I. 単純集計結果

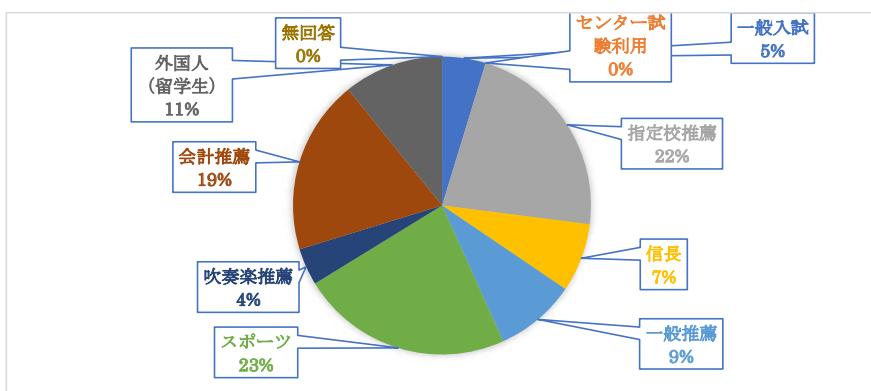
(1) 性別

男性	女性	無回答	計
101(68%)	47(32%)	0	148(100%)



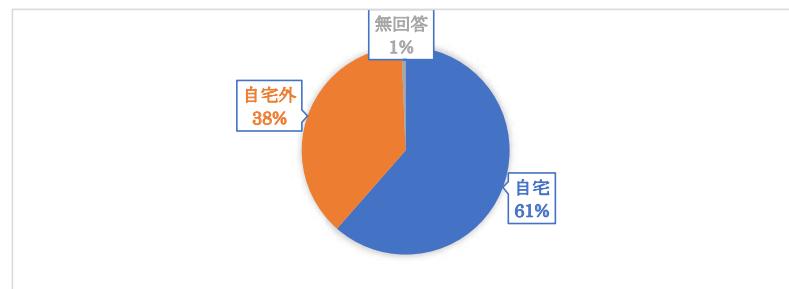
(2) 入試区分

一般入試	センター試験利用	指定校推薦	信長	一般推薦	スポーツ	吹奏楽推薦	会計推薦	外国人(留学生)	無回答	計
7 (5%)	0	33 (22%)	11 (7%)	13 (9%)	34 (23%)	6 (4%)	28 (19%)	16 (11%)	0	148 (100%)



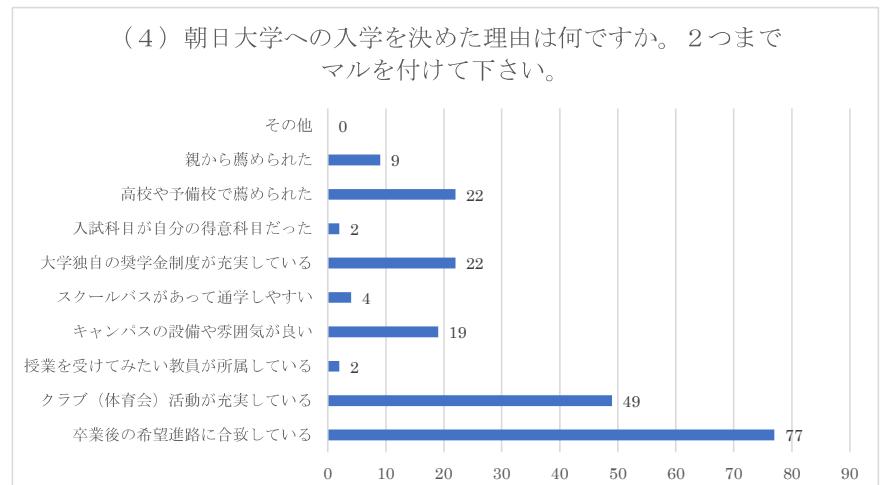
(3) 住居

自宅	自宅外	無回答	計
91(61%)	56(38%)	1(1%)	148(100%)



(4) 朝日大学への入学を決めた理由は何ですか。2つまでマルをつけて下さい。

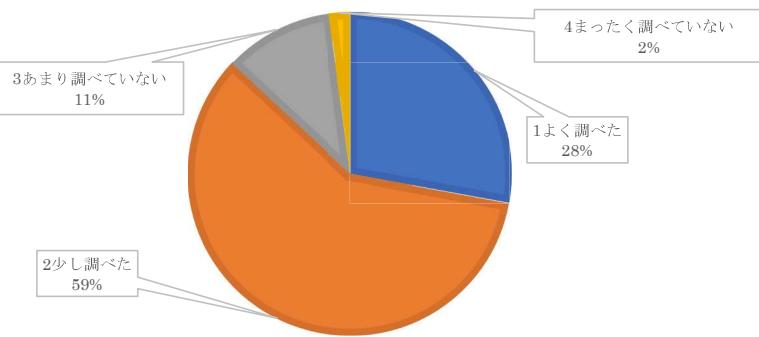
卒業後の希望進路に合致している	クラブ(体育会)活動が充実している	授業を受けてみたい教員が所属している	キャンバスの設備や雰囲気が良い	スクールバスがあつて通学しやすい	大学独自の奨学金制度が充実している	入試科目が自分の得意科目だった	高校や予備校で薦められた	親から薦められた	その他
77 (52%)	49 (33%)	2 (1%)	19 (13%)	4 (3%)	22 (15%)	2 (1%)	22 (15%)	9 (6%)	0 (0%)



(5) 入学した学科について調べてみましたか。マルをしてください。

よく調べた	少し調べた	あまり調べていない	まったく調べていない	無回答	計
41(28%)	87(59%)	16(11%)	3(2%)	0(0%)	147(100%)

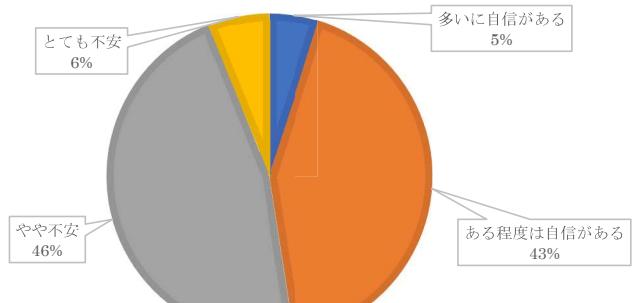
(5) 入学した学科について調べてみましたか。



(6) 入学した学科での学習について自信がありますか。

多いに自信がある	ある程度は自信がある	やや不安	とても不安	無回答	計
7(5%)	63(43%)	68(46%)	9(6%)	1(1%)	147(100%)

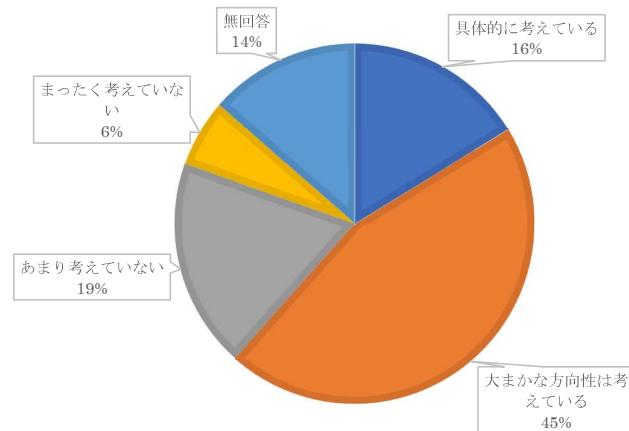
(6) 入学した学科での学習について自信がありますか。



(7) 卒業後の希望進路は考えていますか。

具体的に考えて いる	大まかな方向性 は考えている	あまり考 えて い ない	まったく考 えて い ない	無回答	計
24(16%)	67(45%)	28(19%)	9(6%)	20(14%)	147(100%)

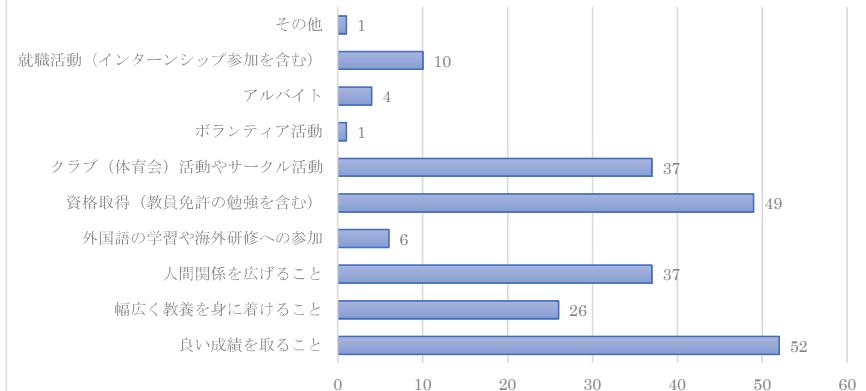
(7) 卒業後の進路は考えていますか。



(8) 大学生活で特に力を入れていきたいのは何ですか。2つまでマークして下さい。

良い成績を取ること	幅広く教養を身に着けること	人間関係を広げるこ	外国語の学習や海外研修への参加	資格取得(教員免許の勉強を含む)	クラブ(体育会)活動やサークル活動	ボランティア活動	アルバイト	就職活動(インターンシップ参加を含む)	その他
52(35%)	26(18%)	37(25%)	6(4%)	49(33%)	37(25%)	1(1%)	4(3%)	10(7%)	1(1%)

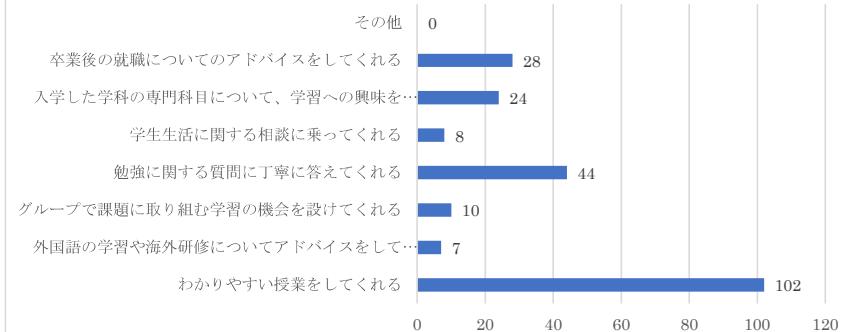
(8) 大学生活で特に力を入れていきたいものは何ですか。



(9) 教員に特に期待することは何ですか。2つまでマルを付けて下さい。

わかりやすい授業をてくれる	外国語の学習や海外研修についてアドバイスをしてくれる	グループで課題に取り組む学習の機会を設けてくれる	勉強に関する質問に丁寧に答えてくれる	学生生活に関する相談に乗ってくれる	入学した学科の専門科目について、学習への興味を持たせてくれる	卒業後の就職についてのアドバイスをしてくれる	その他
102(69%)	7(5%)	10(7%)	44(30%)	8(5%)	24(16%)	28(19%)	0(0%)

(9) 教員に特に期待することは何ですか。2つまでマルを付けて下さい。



II 自由記述欄

(4)朝日大学への入学を決めた理由は何ですか

⑩その他

- ・適当に
- ・会計研究部に入る為
- ・家が近い
- ・目標の通過点
- ・公認会計士になりたい
- ・吹奏楽部に入りたかった
- ・自転車部に入部希望
- ・本学からの推薦
- ・自分のレベル

(8)大学生活で特に力を入れていきたいものは何ですか。

⑩その他

- ・社会で通用する知識を身に着ける

(9)教員に特に期待することは何ですか。

⑧その他

- ・資格取得のサポート

(10)以上の問のほかに、学生生活について感じていることや要望があれば、自由記述で答えてください。できれば理由も教えてください。

・動画講義への不安

III. まとめ

【小括】

(3) 住居

前年度（2019年）4月入学生と比較し、やや自宅生の方が増加傾向にある。

(4) 朝日大学への入学を決めた理由は何ですか。2つまでマルを付けて下さい。

「卒業後の希望進路に合致している」、「クラブ（体育会）活動が充実している」を選択した入学生が52ポイント、33ポイントで有り上位2項目となり、前年度4月入学生と同様の傾向であった。続いて「高校や予備校で薦められた（14ポイント）」、「大学独自の奨学金制度が充実している（14ポイント）」、「キャンパスの設備や雰囲気が良い（13ポイント）」の順となった。また、それ以外の項目も含め、前年度4月入学生と同様の傾向がみられた。

(5) 入学した学科について調べてみましたか。

「よく調べた（28ポイント）」と「少し調べた（59ポイント）」を選択した入学生が9割弱となり調べた結果で入学した学生が多いと言える。この傾向は前年度4月入学生と同様である。

(6) 入学した学科での学習について自信がありますか。

「多いに自信がある（5ポイント）」、「ある程度は自信がある（43ポイント）」を合わせて5割弱が「自信がある」を選択している。「やや不安（46ポイント）」、「とても不安（6ポイント）」を合わせて5割程度が「不安がある」を選択している。この結果は、前年度4月入学生と順位が逆転しており、安心感を持った入学生がやや多くなり、前年度とは若干であるが異なった傾向となった。

(7) 卒業後の進路は考えていますか。

「具体的に考えている（16ポイント）」、「大まかな方向性は考えている（45ポイント）」を合わせて6割程度が選択している。「あまり考えていない（19ポイント）」、「まったく考えていない（6ポイント）」で合わせて3割弱となった。また、無回答が14ポイント有り記入忘れと考えられる。この傾向は、前年度、前々度と同様の傾向である。

(8) 大学生活で特に力を入れていきたいものは何ですか。

「良い成績を取ること（35ポイント）」、「資格取得（教員免許の勉強を含む）（33ポイント）」がで3割強となり、学生生活で何らかの目的を持ちその結果を残したいという意欲的な傾向がみられる。続いて、「クラブ（体育会）活動やサークル活動（25ポイント）」、「人間関係を広げること（25ポイント）」、「広く教養を身に着けること（18ポイント）」、がそれぞれ2割前後となり、学生生活を楽しんだり人間的な成長したいという意向がみられる。一方、1割以下の選択となった「就職活動（インターンシップ参加を含む）（7ポイント）」、「外国語の学習や海外研修への参加（4ポイント）」、「アルバイト（3ポイント）」、「ボランティア活動（1ポイント）」に対する関心が少ない傾向となった。この傾向は、前年度、前々度とほぼ同様の傾向である。

(9) 教員に特に期待することは何ですか。2つまでマークして下さい。

「わかりやすい授業をしてくれる（69 ポイント）」を 7 割程度の入学生が選択し、「勉強に関する質問に丁寧に答えてくれる（30 ポイント）」と 3 割の入学生が選択しており、講義に関する期待が多いといえる。続いて、「卒業後の就職についてのアドバイスをしてくれる（19 ポイント）」、「入学した学科の専門科目について、学習への興味を持たせてくれる（16 ポイント）」を 2 割弱の入学生が選択しており、将来に対するアドバイスへの期待はやや少ない傾向にある。続いて、1 割程度以下となり期待していない項目としては、「グループで課題に取り組む学習の機会を設けてくれる（7 ポイント）」、「学生生活に関する相談に乗ってくれる（5 ポイント）」、「外国語の学習や海外研修についてアドバイスをしてくれる（5 ポイント）」となった。2 割以下しか選択されなかった項目の若干の違いはあるが、上位 2 位までについての傾向は、前年度、前々度と同様であった。

【総括】

入学生は、自分が進む学部についてある程度調べ朝日大学の入学を決定している。入学した理由は、卒業後の進路を意識して、大学生活に目的を持ち何らかの結果を出したいと考えていると思われる。ただし、大学生生活への自信と不安は 5 割程度で、不安だと思っている学生が半数程度おり、そのサポートが重要となる。卒業後の進路については、6 割程度がある程度考えており、3 割弱が余り考えていない結果となつた。大学生活で特に力を入れていきたい項目の上位が、良い成績を取ることや資格取得となり何らかの知識あるいは結果を残したいと考えていると思われる。また、教員のサポートとしては、分かり易い講義を通して進路に必要な知識を得たいと考えているようだ。これらの傾向は、前年度、前々度と同様であった。